

平成23年度(2011年度)

授 業 計 画

東京藝術大学大学院映像研究科

授業科目名	単位数	教員名	備考	頁
映画表現特別演習Ⅰ	4	映画専攻専任教員	映画専攻	2
映画表現特別演習Ⅱ	4	映画専攻専任教員	映画専攻	2
映画表現技術論	2	堀越 謙三, 筒井 武文	映画専攻	3
作品・作家研究	2	黒沢 清	映画専攻	3
脚本研究	2	筒井ともみ 他	映画専攻	4
記録映像研究	2	筒井武文	映画専攻	4
映画表現技術ゼミⅠ	6	黒沢, 筒井(と), 堀越	映画専攻	5
映画表現技術ゼミⅡ	6	黒沢, 筒井(と), 堀越	映画専攻	5
映画制作技術ゼミⅠ	6	柳島, 磯見, 長嶋, 筒井(武)	映画専攻	6
映画制作技術ゼミⅡ	6	柳島, 磯見, 長嶋, 筒井(武)	映画専攻	6
メディアデザイン特別演習	2	佐藤 雅彦	メディア映像専攻	7
メディアアート特別演習	2	藤幡 正樹	メディア映像専攻	7
コンテンツウェア開発特別演習	2	桐山 孝司	メディア映像専攻	8
メディア文化財特別演習	2	桂 英史	メディア映像専攻	8
展示計画論	2	佐藤雅彦、桐山孝司	メディア映像専攻	9
展示構成論	2	佐藤雅彦、桐山孝司	メディア映像専攻	9
作品メディア構造論	2	藤幡 正樹	メディア映像専攻	10
作品メディア芸術史	2	桂 英史	メディア映像専攻	10
立体アニメーション表現特別演習	2	伊藤 有壱	アニメーション専攻	11
アニメーション作品研究特別演習	2	布山タルト	アニメーション専攻	11
平面アニメーション表現特別演習	2	山村 浩二	アニメーション専攻	12
企画開発特別演習	2	岡本美津子	アニメーション専攻	12
アニメーション構想設計論	2	山村浩二、伊藤有壱、布山タルト	アニメーション専攻	13
アニメーションサウンド論	2	岸野 雄一, 高木 創	アニメーション専攻	13
アニメーション史	2	イラングエン, 大口孝之	アニメーション専攻	14
漫画表現論	2	大塚 英志	アニメーション専攻	14
企画開発ゼミⅠ	6	岡本 美津子	アニメーション専攻	15
企画開発ゼミⅡ	6	岡本 美津子	アニメーション専攻	15
立体アニメーションゼミⅠ	6	伊藤 有壱	アニメーション専攻	16
立体アニメーションゼミⅡ	6	伊藤 有壱	アニメーション専攻	16
研究・理論ゼミⅠ	6	布山タルト	アニメーション専攻	17
研究・理論ゼミⅡ	6	布山タルト	アニメーション専攻	17
平面アニメーションゼミⅠ	6	山村 浩二	アニメーション専攻	18
平面アニメーションゼミⅡ	6	山村 浩二	アニメーション専攻	18
物語理論	2	大塚 英志	修士課程共通科目	19
マンガ論	2		修士課程共通科目	19
メディア表現論	2	木村 稔, 馬場一幸, 村上寛光	修士課程共通科目	20
映画音楽論	2	岸野 雄一	修士課程共通科目	20
映像メディア学特別講義	2	藤幡正樹, 桂英史, 筒井武文	博士後期課程	21

科目番号	101	授業科目名	映画表現特別演習Ⅰ	単位数	4	履修区分	必修科目 A
通年	集中	教員名	映画専攻専任教員	対象学生	映画専攻1年生		
授業テーマ							
授業計画・内容	各領域の映画の創造力および専門技術を向上させ、制作技法についての実験・考察を行なうとともに、共同作業のなかで各専門領域の相互連携を理解し、映画の総合的表現力を追求するための方法論を研究する映画制作演習。夏季と春期にそれぞれ16mmフィルムおよびHDという異なった映像メディアによって行なわれる。						
受講にあたっての留意事項							
成績評価方法	出席(参加)状況および作品の中に示された各領域の専門的創造性・技術力によって評価						
教科書／参考書	必要に応じ、授業時間内で紹介する。						
備考(オフィスアワー)							

科目番号	102	授業科目名	映画表現特別演習Ⅱ	単位数	4	履修区分	必修科目 A
通年	集中	教員名	映画専攻専任教員	対象学生	映画専攻2年生		
授業テーマ							
授業計画・内容	各領域の映画の創造力および専門技術を向上させ、制作技法についての実験・考察を行なうとともに、共同作業のなかで各専門領域の相互連携を理解し、映画の総合的表現力を追求するための方法論を研究する映画制作演習。夏季と春期にそれぞれ16mmフィルムおよびHDという異なった映像メディアによって行なわれる。						
受講にあたっての留意事項							
成績評価方法	出席(参加)状況および作品の中に示された各領域の専門的創造性・技術力によって評価						
教科書／参考書	必要に応じ、授業時間内で紹介する。						
備考(オフィスアワー)							

科目番号	103	授業科目名	映画表現技術論	単位数	2	履修区分	必修科目 B
通年		教員名	堀越 謙三, 筒井武文	対象学生	映画専攻1年生		
授業テーマ							
授業計画・内容	<p>映像または映画は、スクリーンという平面に映写されること、あるいはモニターという平面に自らを写し出すことを前提として制作されている。今注目を浴びている3Dすらも、一種の視覚的な“だまし絵”という意味では本質的に2次元でしかない。</p> <p>しかし映像・映画作品を実際に制作する場では、絵画のように最初から平面として世界を捉えるのではなく、あくまでも立体的な奥行き感のあるものとして捉え、それが平面として写し出されたときに、いかなる光を、いかなる美しさを、いかなる効果をもたらすかを仮想する研ぎ澄まされた想像力と、立体を平面に取り込むための様々な道具を操る確かな技術力が要求される。</p> <p>映像表現は直観力のみでは具現化されることはなく、そこには常に表現のための技術という触媒が必要とされることは言うまでもない。本講義ではその様々な表現技術を、現場で活躍している方々とともに明らかにしていく。</p> <p>映画は同時に産業でもある。従ってここでは撮影に関わる現場的な技術ばかりでなく、作品の根幹に大きな影響を及ぼすプロデュースの技術、商業映画として流通させる技術にも目を向けていく。</p>						
受講にあたっての留意事項							
成績評価方法	出席(参加)状況および作品の中に示された各領域の専門的創造性・技術力によって評価						
教科書／参考書	必要に応じ、授業時間内で紹介する。						
備考(オフィスアワー)							

科目番号	104	授業科目名	作品・作家研究	単位数	2	履修区分	必修科目 B
通年	火1, 2	教員名	黒沢 清	対象学生	映画専攻1年生		
授業テーマ							
授業計画・内容							
受講にあたっての留意事項							
成績評価方法							
教科書／参考書							
備考(オフィスアワー)							

科目番号	105	授業科目名	脚本研究	単位数	2	履修区分	必修科目 B
通年	月 1.2	教員名	筒井ともみ 他	対象学生	映画専攻		
授業テーマ							
授業計画・内容	<p>映画の脚本と演劇の戯曲の違いは、いったいどこにあるのか。映画が光と影であるとすれば、舞台には実在として人間がいる。脚本が映画の設計図だとすれば、ではいったいどこで映画は成立するのか。台詞の用いられ方ひとつとっても違いは尽きない。過去の優れたシナリオを読み、主題、表現について考え、討議するとともに、実際に短編、中篇の脚本を書き、完成させる。</p>						
受講にあたっての留意事項							
成績評価方法	出席状況および受講態度によって評価						
教科書／参考書	必要に応じ、授業時間内で紹介する。						
備考(オフィスアワー							

科目番号	106	授業科目名	記録映像研究	単位数	2	履修区分	必修科目 B
通年	集中	教員名	筒井武文	対象学生	映画専攻		
授業テーマ							
授業計画・内容	<p>記録映画の上映と企画の開発を通じ、現実と映画との関係を再考する。そして、実際に撮影をしていくなかで、被写体との関係性を打ち立てていかねばならない。また、その編集を行うことによって、現実を自己の責任によって、物語化していかねばならない。こうした体験は、映画における思考を深めると共に、フィクション作品の製作にも影響を及ぼすはずである。</p>						
受講にあたっての留意事項							
成績評価方法	出席状況および受講態度によって評価						
教科書／参考書	必要に応じ、授業時間内で紹介する。						
備考(オフィスアワー							

科目番号	107	授業科目名	映画表現技術ゼミ I	単位数	6	履修区分	選択必修科目 A
通年	担当教員の指示による	教員名	黒沢・筒井(と)・堀越	対象学生	映画専攻		
授業テーマ							
授業計画・内容	映画は専門的な技術集団による共同作業であることが大きな特徴である。自分が属する職能に習練するのは当然として、他の職能の基礎的理論や職務内容を相互に理解し合うことが、作品の質を高めるとの理念に基づき、夏休み期間中の映画作品制作に向けて、全領域について学習する。主に演出に特化されて授業を行っている。						
受講にあたっての留意事項							
成績評価方法	出席状況およびレポートの内容によって評価						
教科書／参考書	必要に応じ、授業時間内で紹介する。						
備考(オフィスアワー							

科目番号	108	授業科目名	映画表現技術ゼミ II	単位数	6	履修区分	選択必修科目 A
通年	担当教員の指示による	教員名	黒沢・筒井(と)・堀越	対象学生	映画専攻		
授業テーマ							
授業計画・内容	映画製作の基本的な概念、著作権概念、音楽等著作権行使の実際、シナリオ評価および開発の方法論、マーケティング、国際共同製作などを概括的に学ぶと同時に、現在注目されているプロデューサーたちを招いて、彼らの製作哲学を聞く機会も設ける。監督・脚本・製作者たちが、企画を立て、またそれを検証するに際して必要な発想を実践的に学ぶ。						
受講にあたっての留意事項							
成績評価方法	出席状況および受講態度によって評価						
教科書／参考書	必要に応じ、授業時間内で紹介する。						
備考(オフィスアワー							

科目番号	109	授業科目名	映画制作技術ゼミ I	単位数	6	履修区分	選択必修科目 A
通年	担当教員の指示による	教員名	柳島・磯見・長嶋・筒井(武)	対象学生	映画専攻		
授業テーマ							
授業計画・内容	映画は専門的な技術集団による共同作業であることが大きな特徴である。自分が属する職能に習練するのは当然として、他の職能の基礎的理論や職務内容を相互に理解し合うことが、作品の質を高めるとの理念に基づき、夏休み期間中の映画作品制作に向けて、全領域について学習する。主に技術に特化されて授業を行っている。						
受講にあたっての留意事項							
成績評価方法	出席状況およびレポートの内容によって評価						
教科書／参考書	必要に応じ、授業時間内で紹介する。						
備考(オフィスアワー							

科目番号	110	授業科目名	映画制作技術ゼミ II	単位数	6	履修区分	選択必修科目 A
通年	担当教員の指示による	教員名	柳島・磯見・長嶋・筒井(武)	対象学生	映画専攻		
授業テーマ							
授業計画・内容	撮影照明、美術、録音、編集などの優秀な技術者の作品を鑑賞、分析していく。可能な場合は、その作品の担当者や助手に来ていただき、直接、質疑応答を行う。スタジオ・システムが崩壊している現在では、技術の伝承は緊急の課題になっているからである。						
受講にあたっての留意事項							
成績評価方法	出席状況および受講態度によって評価						
教科書／参考書	必要に応じ、授業時間内で紹介する。						
備考(オフィスアワー							

科目番号	121	授業科目名	メディアデザイン特別演習	単位数	2	履修区分	必修科目 A
前期(集中)		教員名	佐藤 雅彦	対象学生	メディア映像専攻		
授業テーマ	この講義では、「新しい表現を生み出す方法」を生み出すことを演習テーマとします。						
授業計画・内容	<p>最初の第一週は、新しい表現を作る方法論とは具体的にどのようなものか、ということ講義します。</p> <p>第二週は、与えられた方法論の中からひとつの方法論を選び、その方法論にのっとった試作作品をグループで制作・発表。</p> <p>第三週は、別グループを再編して、その中でオリジナルの方法論を模索し作り上げ、それを発表。</p> <p>基本的には、上記のような進め方をするが、履修生の理解習得の進捗度・機材の充実度により、適宜、各段階の細分化や別必要項目の講義に修正することも ある。</p>						
受講にあたっての留意	機材の調達や制作進行など、主体的に関わること						
成績評価方法	新しい方法論に対しての構想力(80%) + 制作力(20%)						
教科書/参考書	必要に応じて指定します。						
備考(オフィスアワー)	金曜日午後						

科目番号	122	授業科目名	メディアアート 特別演習	単位数	2	履修区分	必修科目 A
前期(集中)		教員名	藤幡 正樹	対象学生	メディア映像専攻		
授業テーマ	映像を扱うメディア技術について、共通の理解を得るための授業です。どのようにデジタル技術を扱えば、自分がもとめる結果を手に入れることができるのか? 基礎レベルでは、受け手を想定した映像の品質管理について演習し、応用レベルでは意図的に設けた技術的な制約の中での創造性と芸術性について演習を通して学びます。						
授業計画・内容	<p>グループワーク、2人組、個人での作業という3つのパターンを想定しています。</p> <p>以下のような3つのアспектについて、実験的な作業を行ってゆき、最後に展示を行う予定です。</p> <p>1) 写真 2) 音および音楽 3) ヴィデオあるいはアニメーション</p>						
受講にあたっての留意							
成績評価方法	およそ3回の課題制作と講評を行います。						
教科書/参考書							
備考(オフィスアワー)	基本的に火曜日の午後です。						

科目番号	123	授業科目名	コンテンツウェア開発特別演習	単位数	2	履修区分	必修科目 A
前期(集中)		教員名	桐山 孝司	対象学生	メディア映像専攻		
授業テーマ	コミュニケーション支援のためのプログラミング、データ化、メタデータなどを扱います。						
授業計画・内容	<p>テーマ1: プログラミング 視覚化のための高機能言語Processingを使って、データの入出力や表示などを行っていきます。</p> <p>テーマ2: データ化 GPSなどのツールを使って、データを収集していくことを行います。</p> <p>テーマ3: メタデータ(XML) 映像、音声、言語などさまざまなデータを見通しよく扱うために、データの意味づけ(メタデータ)が必要になります。XMLを利用してメタデータを扱っていきます。</p>						
受講にあたっての留意事項							
成績評価方法	出席、課題						
教科書/参考書							
備考(オフィスアワー)							

科目番号	124	授業科目名	メディア文化財特別演習	単位数	2	履修区分	必修科目 A
前期(集中)		教員名	桂 英史	対象学生	メディア映像専攻		
授業テーマ	映像メディアの記録・保存に関するサービス、技術、制度を作品論的な視点から理解する。						
授業計画・内容	<p>第1週: 受容と表出(1) 広い意味での「映像メディア作品」を数多く見ながら、記録・保存のために必要とされるメタデータの編集・作成を行っていく。</p> <p>第2週: 受容と表出(2) 第1週に続いて、広い意味での「映像メディア作品」を数多く見ながら、記録・保存のために必要とされるメタデータの編集・作成を行っていく。</p> <p>テーマ3: 企画 ネットワークとデジタル技術を基盤としたアーカイブサービスの将来像を企画する。また、その際には技術、制度を総合的な視点から理解しながら、映像展示(ショーイング)とアーカイブとの関係を考察する。</p>						
受講にあたっての留意事項							
成績評価方法							
教科書/参考書							
備考(オフィスアワー)							

科目番号	125	授業科目名	展示計画論	単位数	2	履修区分	必修科目 B
前期	金 1	教員名	佐藤雅彦、桐山孝司	対象学生	メディア映像専攻		
授業テーマ	この講義では、論理的な考え方、しくみの探求、対象のモデル化などを重視して、自分が面白いと思う事象や視点を他人に伝えられる形にすることを試みていきます。 展示計画論(前期)では、論理的なモデル化、電子回路、入出力デバイスなどを扱います。						
授業計画・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 簡単な回路と論理表 ・ 論理ゲートで作る回路 ・ マイクロコンピュータ(Arduino) ・ センサ入力 ・ アクチュエータ出力 ・ PWM制御 ・ シリアル通信 ・ センサとアクチュエータの連動 						
受講にあたっての留意事項							
成績評価方法	出席、課題、期末試験						
教科書／参考書	必要に応じて指定します。						
備考(オフィスアワー)	金曜日午後						

科目番号	126	授業科目名	展示構成論	単位数	2	履修区分	必修科目 B
後期	金 1	教員名	佐藤雅彦、桐山孝司	対象学生	メディア映像専攻		
授業テーマ	この講義では、論理的な考え方、しくみの探求、対象のモデル化などを重視して、自分が面白いと思う事象や視点を他人に伝えられる形にすることを試みていきます。						
授業計画・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無線を使ったセンサ入力(RFID) ・ データの収集と視覚化 ・ インタラクティブ性 ・ 課題制作 						
受講にあたっての留意							
成績評価方法	出席、課題、期末試験						
教科書／参考書	必要に応じて指定します。						
備考(オフィスアワー)	金曜日午後						

科目番号	127	授業科目名	作品メディア構造論	単位数	2	履修区分	必修科目 B
前期	月 1	教員名	藤幡正樹	対象学生	メディア映像専攻		
授業テーマ	メディア技術を用いた作品を成立させてゆくための背後にあるべき構造について考えて行きます。映像や音声などのメディアエレメントをコンピュータの上で統合してゆく上で、もっとも重要なことは、表層と深層とをつなぐインターフェイスの問題です。これまで記号論や図像学的な研究が言語やグラフィックスを対象にはなされて来ましたが、映像については皆無に近いのが現状です。さまざまな事例をもとにするのではなく、背後の構造について						
授業計画・内容	<p>作品とメディアをつなぐ構造をみぬいてゆくための手法について</p> <p>1) 課題を与えて、文章を作成してもらいます。 2) 課題をもとに、ビジュアルな資料を作成してもらいます。 3) 授業の中で発表してもらいます。</p> <p>最終的に、各人が持つ興味に従って、さまざまな作品をテーマにして、その構造を分解する作業を行います。</p>						
受講にあたっての留意事項							
成績評価方法	各自の調査発表						
教科書／参考書	読んでもらいたい書籍等は、適宜授業の中で紹介します。						
備考(オフィスアワー)	月曜日の午後						

科目番号	128	授業科目名	作品メディア芸術史	単位数	2	履修区分	必修科目 B
後期	火 1	教員名	桂英史	対象学生	メディア映像専攻		
授業テーマ	「映像技術」と「映像表現」の歴史について、主に社会思想史的側面を重視しながら考えます。「メディア表現」は対象や手法はきわめて多様です。日常的な局面から政治や歴史の文脈におよぶ広範囲な対象です。技術革新や市場などと密接な関係があることもあり、一様な歴史観ではとらえられないという点で、芸術史の中でも特殊で未熟な分野です。本講義では、「専門家」						
授業計画・内容	<p>基本的に講義のスタイルを貫きます。おそらく退屈することはないでしょう。具体的には、以下のような論点を中心に展開していくことになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各分野での「メディア」のとらえ方 ・ 芸術分野における「メディウム」について <ul style="list-style-type: none"> ・ 「メディア」を通じた信用の起源と発展について ・ 「信用装置」としての映像について ・ 「信用」をキーワードに「メディア」「芸術」「表現」について考える <p>メディア表現の影響力を「信用」という点から考えることによって、「自らの『思考』や『表現』が何を根拠としてどこに向かっているのか」という問いを自分自身に突きつけてもらえればと思います。テキストはまったく使いません。ただ、折に触れて関連する映像作品や芸術作品を参照することもあります。少人数制であることを十分考慮して、ひとりひとりの問題意識に響くように講義の展開を配慮します。適宜本講義のテーマに関する自らの意見を積極的にプレゼンテーションしてください。</p>						
受講にあたっての留意事項	メディア映像専攻学生は必修科目です。すべては「参加」から始まります。火						
成績評価方法	講義中の様子(50%) レポート(30%) 各人のキャラクター(20%)						
教科書／参考書	まったく使いません。参照すべき文献や作品等は、適宜授業の中で紹介します						
備考(オフィスアワー)	原則として月曜日の午後にお待ちしています。						

科目番号	151	授業科目名	立体アニメーション表現特別演習	単位数	2	履修区分	必修科目 A
前期(集中)	担当教員の指示による	教員名	伊藤有吉	対象学生	アニメーション専攻		
授業テーマ	グループワークによる立体アニメーション習作を制作する。						
授業計画・内容	立体アニメーション作品における企画、造形、撮影、編集の各工程をおよそ1週間ずつかけて習作を制作。グループワークスタイルを採る事で本来の連携制作方式を一部体験しながら各自に必要な技術ポイントを認識し、これを向上させる。 別途「クレイ」「関節」をモチーフに演習課題提出あり。						
受講にあたっての留意事項							
成績評価方法	出席と課題						
教科書／参考書	必要に応じて配布、指定します。						
備考							

科目番号	152	授業科目名	アニメーション作品研究特別演習	単位数	2	履修区分	必修科目 A
前期(集中)	担当教員の指示による	教員名	布山タルト	対象学生	アニメーション専攻		
授業テーマ	1. 各々の立ち位置を歴史的流れと同時代的な見取り図の上でとらえること 2. アニメーションをめぐる概念の学びほぐしと、遊びによる可能性の模索						
授業計画・内容	ディスカッションとワークショップを中心に授業をすすめる。 具体的な内容例は以下の通り： ・文献研究と作品分析 ・問題発見手段としての他者へのインタビュー ・アニメーションの技法をめぐるワークショップ						
受講にあたっての留意事項							
成績評価方法	出席と課題						
教科書／参考書	必要に応じて配布、指定します。						
備考							

科目番号	153	授業科目名	平面アニメーション表現特別演習	単位数	2	履修区分	必修科目 A
前期(集中)	担当教員の指示による	教員名	山村浩二	対象学生	アニメーション専攻		
授業テーマ	フレーム(画面とコマ数)やコンポジション(画面構成と時間軸での構成)など、アニメーションの基本的な概念と、アイデア、タイミングなど創作の基礎の認識を深める。						
授業計画・内容	<p>第1週: 映画、映像の基本的概念の短い講義と、「アイデアを絵にする」課題。</p> <p>第2週: アニメーション・ソフトウエアのワークショップとその習得のための第2の演習課題。</p> <p>第3週: アニメーションのタイミングについての講義と、「自立した動き」「依存した動き」に関連した第3の課題。</p> <p>第4週: ドローイングによるアニメーションの最後の課題。</p>						
受講にあたっての留意事項							
成績評価方法	出席と課題						
教科書/参考書	必要に応じて配布、指定します。						
備考							

科目番号	154	授業科目名	企画開発特別演習	単位数	2	履修区分	必修科目 A
前期(集中)	担当教員の指示による	教員名	岡本美津子	対象学生	アニメーション専攻		
授業テーマ	着想とリサーチから立案までの「企画」、メディアの特性に応じたウィンドウコントロール、プロモーションなどの「メディア設計」、予算、著作権、契約などの「マネジメント」などの、アニメーション制作に必要な知識と方法論を、具体的なケーススタディを通して習得する。						
授業計画・内容	<p>・ 修士一年次作品企画を実際に作成するプロセスを通して、次の項目の方法論、実践的なスキル、知識を習得する。</p> <p>①「企画立案」着想方法、リサーチ、マーケティングの必要性</p> <p>②「企画、企画書」企画案作成から企画書までの方法論</p> <p>③「プリプロダクション」シノプシス、構成、脚本、イメージボード、絵コンテまで</p> <p>④「予算」「スケジュール」「展開」予算、スケジュールの考え方、2次展開</p> <p>⑤「権利」著作権、音楽著作権など、作品づくりに必要な権利についての知識(外部講師(弁護士)による)</p> <p>⑥「プレゼンテーション」企画、考えの伝達の方法論</p> <p>・ 外部アニメーション監督、プロデューサー等による講義</p>						
受講にあたっての留意事項							
成績評価方法	出席と課題						
教科書/参考書	必要に応じて配布、指定します。						
備考							

科目番号	155	授業科目名	アニメーション構想設計論	単位数	2	履修区分	必修科目 B
通年	不定期	教員名	山村浩二、伊藤有壱、布山タルト	対象学生	アニメーション専攻		
授業テーマ	アニメーションの物語世界における演出プランを構築して行く上でのさまざまな必要条件を実践的に考察する。 また現代メディアとそのコンテンツの動向と将来像を具体的な事例をもとに考察していく。 適宜、アニメーション作家、プロデューサー等を招き、テーマにそった講演も開催。						
授業計画・内容	<p>山村浩二： 全8回、アニメーションにおける主要な構成要素、「リポート」、「パースペクティブ」、「メタモルフォーゼ」、「メタファー」、など毎回テーマごとにセレクトしたアニメーション作品を鑑賞しながら、文学、音楽、詩など他のメディアとの比較、考察を講義しながら、アニメーションの特性とアニメーション制作の有効な方法論を探る。 講義の最後にレポート課題を予定。また後期に外部講師によるアニメーション理論の講義を3回予定。</p> <p>伊藤有壱： 全2回、「立体アニメーション」について伝統的な作品系譜から広義のそれまでを作品例をあげ、時に鑑賞しながら技法のみならず俯瞰、解説する。</p> <p>布山タルト：全2回、映画およびテレビ以外のメディアにおけるアニメーション表現に関するアニメーション</p>						
受講にあたっての留意事項							
成績評価方法	出席と課題						
教科書／参考書	必要に応じて配布、指定します。						
備考							

科目番号	156	授業科目名	アニメーションサウンド論	単位数	2	履修区分	必修科目 B
前期		教員名	岸野雄一、高木創	対象学生	アニメーション専攻		
授業テーマ	映像表現とはつまり、人間の五感のうち、視覚と聴覚のみを抽出し、フレームを持った平面に落とし込み、時間軸上に示す事といえます。そこでは視覚と聴覚による様々な作用／反作用が起こります。この講義では、どちらかに偏って思考しがちな「音」と「映像」の関係について、歴史上に蓄積された技術や方法論を体系化し、今日のフォーマットに照らし合わせながら考察していきます。						
授業計画・内容							
受講にあたっての留意事項							
成績評価方法	出席と課題						
教科書／参考書	必要に応じて配布、指定します。						
備考							

科目番号	157	授業科目名	アニメーション史	単位数	2	履修区分	必修科目 B
通年		教員名	イランゲン, 大口孝之	対象学生	アニメーション専攻		
授業テーマ	アニメーション映画史の中から短編を主な対象に、作品と作り手を中心に置き、日本と世界の流れを時代毎に概観するとともに、その関係のあり方を考察する。						
授業計画・内容	<p>アニメーション史への取り組み方と授業の仕組み アニメーション映画の始まり カートゥーンと漫画映画 長編の登場とその継承 戦中と戦後の間 1950年代の「新しいアニメーション」の成立過程とその源流 1960年の転換点：対立的構造の成立 アニメーション界とその自意識の変容 など</p> <p>第1週 アブストラクト・アニメーションとモーショントラッキング 視覚と聴覚を融合した表現として誕生し、抽象芸術の動画版として発展したアブストラクト・アニメーション。オスカー・フィッシング、ジョン・ウイットニー、ジョーダン・ベルスン、ノーマン・マクラレンといった代表的作家を紹介すると共に、ソール・バス、ロバート・エイブルなどが商業的なモーショントラッキングへと応用していった歴史も検証。</p> <p>第2週 コンピュータ・アニメーション スケッチパッドに始まり、ユタ大学、ゼロックス・パロアルト研究所、</p>						
受講にあたっての留意事項							
成績評価方法	出席と課題						
教科書／参考書	必要に応じて配布、指定します。						
備考							

科目番号	158	授業科目名	漫画表現論	単位数	2	履修区分	必修科目 B
前期		教員名	大塚英志	対象学生	アニメーション専攻		
授業テーマ	物語論に基づくキャラクター制作の方法						
授業計画・内容	まんが史におけるキャラクター表現の歴史を概観しながら、まんがや商業アニメーションにおけるキャラクターのあり方を物語論の立場から分析して、そこで抽出した論理フレームから逆算してキャラクターづくりを行っていく。キャラクターをデザインとしてではなく物語構造の要素として把握し、キャラクターの属性がいかに作品の主題と関連づけられているかを理解することで、物語を表現しうるキャラクターを創造できる基礎的な素養を修得する。						
受講にあたっての留意事項	「物語理論」と同時に履修することが望ましい。						
成績評価方法	出席と課題						
教科書／参考書	必要に応じて配布、指定します。						
備考							

科目番号	161	授業科目名	企画開発ゼミ I	単位数	6	履修区分	選択科目 A
隔年	後期	教員名	岡本美津子	対象学生	アニメーション専攻		
授業テーマ	作品制作のプロセスの中でも「企画」に重点を置き、「研究・リサーチ」から「創作」へと繋がる「企画」の方法論を確立することをめざす。						
授業計画・内容	<p>修士一年次作品と並行して、下記の方法論で「企画研究」を行っていく。</p> <p>「作品研究」「事例研究」…作品や社会で起きている事例等を取りあげ、何が「面白い」のか、何が「よい」のか、を分析的に抽出するために、言語化して考える。</p> <p>「応用・適用」…上記の面白さやよさを、アニメーションや映像作品にどう定着させていくかを考える。</p> <p>「シミュレーション」…実験映像制作を行う。</p> <p>その他、プロジェクト活動として、新しいメディアへのコンテンツ制作、内外との共同制作、他の専攻分野とのコラボレーション、新しいプロデューススキームの確立なども行う。</p>						
受講にあたっての留意事項							
成績評価方法	出席と課題						
教科書／参考書	必要に応じて配布、指定します。						
備考							

科目番号	162	授業科目名	企画開発ゼミ II	単位数	6	履修区分	選択科目 A
隔年	通年	教員名	岡本美津子	対象学生	アニメーション専攻		
授業テーマ	修了制作を通じた「企画」の実現プロセスと、その後の展望						
授業計画・内容	<p>修了制作のプロダクションプロセスでは、特に次の方法論に重点を置く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アイデアフラッシュによる企画の絞り込み ・ 比較による最適方法の選択 ・ ゼミ内ディスカッション等による客観的視点の保有 ・ 計画的スケジュールによるクオリティアップ <p>また、修了作品制作後の次まで見据えたトータルのセルフプロデュースの元に修了制作を位置づけるべく、個別指導を行っていく。</p> <p>プロジェクトとして、プロデューサーのネットワークおよびプロデューサー論の確立をめざした公開講座「現代映像プロデュース論」や、アニメーションを用いたイベントや他分野との共同制作や研究を行うことで、将来に向けた自己の社会でのスタンスを探る。</p>						
受講にあたっての留意事項							
成績評価方法	出席と課題						
教科書／参考書	必要に応じて配布、指定します。						
備考							

科目番号	163	授業科目名	立体アニメーションゼミ I	単位数	6	履修区分	選択科目 A
通年	後期	教員名	伊藤有幸	対象学生	アニメーション専攻		
授業テーマ	1 年次修了制作の指導を中心に、立体を中心としたアニメーション表現の基礎技術確立と、作品完成フロー研究の両面を学ぶ。						
授業計画・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 立体を中心としたアニメーション表現ならではの企画、設定、演出技術の研究と実践。 ・ 素材、技法研究および、作品完成フロー体験各行程での指導。 ・ 作品鑑賞とテーマ及び技法の解析(レポート及びグループディスカッション) ・ 1 年次修了制作の具体的指導。 						
受講にあたっての留意事項							
成績評価方法	出席と課題						
教科書／参考書	必要に応じて配布、指定します。						
備考							

科目番号	164	授業科目名	立体アニメーションゼミ II	単位数	6	履修区分	選択科目 A
隔年	通年	教員名	伊藤有幸	対象学生	アニメーション専攻		
授業テーマ	2 年次修了制作の指導を中心に、立体を中心としたアニメーション表現の応用技術確立と、作品完成フロー研究の両面をさらに進化させる。						
授業計画・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 立体を中心としたアニメーション表現ならではの企画、設定、演出技術の研究と実践。 ・ 素材、技法研究および、作品完成フロー体験各行程での指導。 ・ 制作上必要なテーマに焦点をあてた現場の見学及び高等技術者によるレクチャー。作品鑑賞。 ・ 2 年次修了制作の具体的指導。 						
受講にあたっての留意事項							
成績評価方法	出席と課題						
教科書／参考書	必要に応じて配布、指定します。						
備考							

科目番号	165	授業科目名	研究・理論ゼミ I	単位数	6	履修区分	選択科目 A
通年	後期	教員名	布山タルト	対象学生	アニメーション専攻		
授業テーマ	アニメーション研究を他の研究領域と交錯させ、あらたな問題発見や研究手法の開発を行う。作品制作を目指す学生に対しても領域横断的な発想を促し、既存の表現に対するブレイクスルーをもたらすことを目指す。						
授業計画・内容	各々の研究テーマや制作テーマに沿った指導を行う。研究者を目指す学生に対しては、文献収集やデータベース作成等、研究者としての基本的なスキルの指導を適宜行う。作品制作を目指す学生に対しては、必要に応じた技術指導を適宜行う。						
受講にあたっての留意							
成績評価方法	出席と発表						
教科書／参考書	必要に応じて配布、指定します。						
備考							

科目番号	166	授業科目名	研究・理論ゼミ II	単位数	6	履修区分	選択科目 A
隔年	通年	教員名	布山タルト	対象学生	アニメーション専攻		
授業テーマ	修了制作におけるテーマの深化と独創的なアニメーション表現の追求						
授業計画・内容	参加メンバーの要望に応じた柔軟な指導体制をとるが、基本的にはディスカッションを中心とした個別の修了制作指導を行う。						
受講にあたっての留意							
成績評価方法	面談の内容から判断する。						
教科書／参考書	必要に応じて配布、指定します。						
備考							

科目番号	167	授業科目名	平面アニメーションゼミ I	単位数	6	履修区分	選択科目 A
通年	後期	教員名	山村浩二	対象学生	アニメーション専攻		
授業テーマ	平面アニメーションの基礎と、表現の幅を広げる。 作品をつくる意味と必然を探る。						
授業計画・内容	発想とそれをまとめあげる企画力の強化。 アニメーションにおける技法と画材、画面構成と動き (Motion) の研究。						
受講にあたっての留意事項							
成績評価方法	出席と課題						
教科書／参考書	必要に応じて配布、指定します。						
備考							

科目番号	168	授業科目名	平面アニメーションゼミ II	単位数	6	履修区分	選択科目 A
隔年	通年	教員名	山村浩二	対象学生	アニメーション専攻		
授業テーマ	平面アニメーションの総括。アニメーション表現の探求と実践。						
授業計画・内容	修了制作の指導。アニメーション表現の追求。映像のポストプロ作業の実践。 それぞれ一人アニメーション作家を取上げてテーマをもうけた研究 (論文) を 行う事で、自身の創作の意義をみつめる。						
受講にあたっての留意事項							
成績評価方法	出席と論文						
教科書／参考書	適宜						
備考							

共通科目(映画専攻 開設)

科目番号	171	授業科目名	物語理論	単位数	2	履修区分	選択科目 B
前期	金1, 2	教員名	大塚英志	対象学生	大学院 映像研究科		
授業テーマ							
授業計画・内容	<p>「STAR WARS」の脚本制作に神話学者のキャンベルが『千の顔を持つ英雄』で示した神話の構造が用いられていることは余りに有名だが、文化人類学及び文学理論としての物語論は八〇年代にその知的流行を終えた後、ハリウッド映画ではシナリオ創作の理論として再構築されている。講義はロシアフォーマリズムに始まる物語論を概説しつつ、物語が一定の文法的秩序からなることを「物語の構造に従って創作する」課題を介して身につける。</p> <p>また、大塚が自作の映画化企画でリアルタイムで経験しているハリウッドの「デベロップメントステージ」の実情についても概観する。</p>						
受講にあたっての留意事項							
成績評価方法							
教科書／参考書	必要に応じ、授業時間内で紹介する。						
備考(オフィスアワー)	出席状況およびレポートの内容によって評価						

共通科目(メディア映像・アニメーション専攻 開設)

科目番号	173	授業科目名	マンガ論	単位数	2	履修区分	選択科目 B
	集中	教員名	未定	対象学生	大学院 映像研究科		
授業テーマ							
授業計画・内容							
受講にあたっての留意事項							
成績評価方法							
教科書／参考書							
備考(オフィスアワー)							

共通科目(メディア映像専攻 開設)

科目番号	175	授業科目名	メディア表現技法	単位数	2	履修区分	選択科目 B
前期	水 I	教員名	木村 稔、馬場一幸、村上寛光	対象学生	大学院 映像研究科		
授業テーマ	複合的なメディア環境での研究制作活動の基盤づくりとして、メディア表現の基礎について講義と演習を通して学ぶ。						
授業計画・内容	<p>文字の発明から印刷技術の誕生、そして写真、映画、ビデオ、コンピュータなどの登場にいたるまで、さまざまなメディア技術とその表現技法について、歴史的、構造的側面からの考察や思考訓練的な演習などを通して学ぶ。</p> <p>主なトピックとして</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表現と場 ・ 素材(メディアム)と手法(メソッド) ・ 印刷技術の誕生 ・ 文字を知る、考える(タイポグラフィ) ・ 編集術:情報の整理整頓 ・ 写真技術と表現 ・ 表現におけるサウンドデザイン ・ ネットワークと表現 						
受講にあたっての留意							
成績評価方法	出席および課題提出						
教科書/参考書	参考となる文献等は、授業の中で紹介します						
備考(オフィスアワー)	平日午後						
教科書/参考書	必要に応じ、授業時間内で紹介する。						
備考(オフィスアワー)	出席状況およびレポートの内容によって評価						

共通科目(映画専攻 開設)

科目番号	176	授業科目名	映画音楽論	単位数	2	履修区分	選択科目 B
前期	木2	教員名	岸野雄一	対象学生	大学院 映像研究科		
授業テーマ							
授業計画・内容	<p>「映像表現とはつまり、人間の五感のうち視覚と聴覚のみを特化して、フレームを持った時間軸上に示す事といえます。そこでは視覚と聴覚による様々な作用/反作用が起こります。この講義では、どちらかに偏って思考しがちな「音」と「映像」の関係について、歴史上に蓄積された技術や方法論を体系化し、今日のフォーマットに照らし合わせながら考察し、作品に反映させる方法を学んでいきます。</p>						
受講にあたっての留意事項							
成績評価方法	出席および課題提出						
教科書/参考書	必要に応じ、授業時間内で紹介する。						
備考(オフィスアワー)	出席状況およびレポートの内容によって評価						
教科書/参考書	必要に応じ、授業時間内で紹介する。						
備考(オフィスアワー)	出席状況およびレポートの内容によって評価						

科目番号	201	授業科目名	映像メディア学特別講義	単位数	2	履修区分	必修科目
前期	水 I	教員名	藤幡正樹、桂英史、筒井(武)	対象学生	博士後期課程		
授業テーマ	「映像メディア学」について講義する。これまでのような受け手側からの批評や理論ではなく、作り手やプロデューズという立場からの作品創造論を展開するための理論的なアプローチについて講義する。						
授業計画・内容							
	藤幡正樹	映像メディアを作り手の道具として位置づけ、その道具を通じた技術・技法・技巧についての分析を行いながら、制作者の立場から技術と作品創造の関係性について講義を行う。					
	桂英史	映像メディア学の背景となっている「メディア論」や「メディアロジー」あるいは「文化研究」の立場から、映像メディア学の学問的な背景について講義を行う。					
	筒井武						
受講にあたっての留意事項	特になし						
成績評価方法	出席とレポート						
教科書／参考書	随時指示する						
備考(オフィスアワー)	原則として水曜日午後に各自指導教員にコンタクトをとること						